

【キハダのカトラリー作り ～鹿の角マドラーとジャムスプーン～】

Work by ポニーの里ファーム

1. ワークショップの内容

【日程】7月18日(土)【時間】13:30~15:00

【内容】鹿の角マドラーとジャムスプーン作り

【価格】1,910円+送料720円(税込)

【申込】先着順

【配信方法】ZOOMにて実施

【決済方法】オンライン決済

制作キットの中身

- ・鹿の角マドラーとジャムスプーン(制作用)
- ・紙やすり、蜜蝋(制作用)
- ・キハダ関連商品のお土産(中身はお楽しみに!)

★使用する道具は紙やすりと蜜蝋だけなので、お子様も一緒にお楽しみいただけます。

キハダについて

キハダとは、ミカン科の落葉広葉樹で、そこからとれる「黄檗(おうばく)」は生薬や染料として古くから用いられ、生薬はおおよそ1300年前から朝廷にも献上されていたとされる由緒正しきものです。奈良では「陀羅尼介(だらにすけ)」や「三光丸(さんこうがん)」の原料としても使用されていることで有名です。

一本のキハダから十分な黄檗がとれるまで約20年。

「失われていく日本のキハダ文化を守りたい」その一心で、ポニーの里ファームは「20年後の未来に文化をつなぐ Re:KIHADA」プロジェクトを実施しています。

2. ポニーの里ファームについて

奈良県高取町を中心に薬草の6次産業化に取り組む企業。奈良県にゆかりのある大和当帰や大和芍薬、キハダの栽培に取り組んでいます。食品や雑貨などの商品化も行うほか、観光事業などにも取り組んでいます。栽培・商品販売・イベントの実施を通して『くすりのまち奈良』のPR活動を行っています。



外皮をめくるとオウバク部分が出てきます



むいた後の心材(木材)を製材し木工製品として使用します



左が完成品
右が制作キットです。

お申込みはこちら

